

## 第12回SBM<スポーツバイクメカニック>養成講座 開催報告、修了検定合格者発表

平成28年7月5日・6日の2日間、ステーションコンファレンス池袋(東京都豊島区)にて、第12回SBM<スポーツバイクメカニック>養成講座を開催しました。今回から池袋駅に直結した利便性の高い同会場に移し、北は札幌、南は沖縄から全29名の自転車販売店従事者の方が受講しました。

SBM養成講座では定番となった人気講義、内藤講師(新家工業)の「スポーツバイクの歴史とフレーム設計」や秋吉講師(キャノンデール・ジャパン)の「油圧ディスクブレーキの仕組みと整備」、高木講師(東日製作所)の「トルク管理とトルクレンチについて」の3講義のほか、今回初めての講義として、現役フレームビルダーの坂田講師(あぶくま自転車工房)によるフレーム製作工程とその作業について解説する「フレームのアライメント作業」、実際にフィッティングマシンを持ち込み、元オリンピックロード競技選手を実演モデルとしてポジション出しの基礎を解説する中西・藤田講師(ブリヂストンサイクル)による「フィッティング理論の基礎と実践」、店舗におけるお客様への適切な対応方法を、様々なパターンから検証する榎本講師(エノモト自転車店)による「店舗におけるトラブル事例の考察」、多様化するベアリングの仕組みや特性、そのメンテナンスについて解説した白倉講師(グルーヴィーインターナショナル)による「ベアリングの構造と整備」の4講義、全7講義が行われました。

2日目に実施した修了検定には本講座受講生と修了検定再受験資格者、JBPI認定校の計59名が挑み、うち13人が合格基準に達しました。修了検定は筆記と実技で構成された試験で、合格基準は筆記、実技ともに70点以上となっています。なお、今回の合格率は約22%となっています(前回合格率約18%)。

次回は来年2月頃に「第13回SBM<スポーツバイクメカニック>養成講座」を大阪で開催する予定です。

### 【講習風景】



## 【合格者一覧】

No.	氏名	店舗名	所在地
1	久場 秀生	アウトドアショップNEOS	沖 縄
2	風間 健司	CYCLE FACTORY	北海道
3	梅澤 和功	CYCLE FACTORY	北海道
4	日下 裕次郎	DayDownBicycle	長 野
5	松永 和也	サイkland松永	山 形
6	竹内 正昭	バイク&バイク	東 京
7	大竹 梢文	スマイルスタイルイセサキ	群 馬
8	運天 史	自転車屋POP	神奈川
9	傳賢 泰司	サイクルスタヂオハクセン	東 京
10	道祖土 昇	サイド商会	埼 玉
11	倉又 優	バイシクルセオ 上尾イースト店	埼 玉
12	峯崎 孔史郎	サイクルベースあさひ 国分寺店	東 京

### 【備考】

1. 合格者の掲載順は、講座申込順です。
2. SBM養成講座の受講修了証を取得した受講生に対して、受講修了証に記された日から5年1か月の間受験資格が与えられるため、今回不合格の方もその間、再度受験が可能となっています。
3. 上記以外の1名は JBPI 認定校(東京サイクルデザイン専門学校)の方で、合格者候補扱いとなっています。卒業後3ヶ月以内に自転車販売店に勤務し、所定の手続きが完了した時点でSBM合格者として登録となります。

### 【受講生アンケート(一部抜粋)】

この講習会等で、最新パーツや整備方法等についてショップ間の情報交換の場があると良い。
日頃の作業の再確認や今まで知らなかった知識を得る良い機会になった。
講義のレベルが高く理解の及ばない部分も多かったが、質の高い情報に触れる事で貴重な経験になった。
プロの現場と自分の技術のレベル差を痛感した。もっと勉強してまた受講したい。
各講義で学んだ様々な作業を実際に行える実技講習の時間が欲しい。
ネジの締め方一つとっても奥が深く、とても勉強になった。
申込み方法が不便なので改善して欲しい。教本の内容更新が必要。
各講座のレベルが高く、講習中に話を追いかける事で精一杯なので事前に学べる資料が欲しい。
時間が足りないくらい熱中して聴講した。とても内容が濃く、1つ1つが深い講義だった。
次回はフレームビルダーがお客様の要望に合わせて、どのようにフレームに味付けするのか聞きたい。
各講義の講習時間が短いので、もっと長くて欲しい。
全国色々な販売店の方と意見交換できて良い経験になった。メールマガジン等の定期情報発信が欲しい。
アルミやカーボン製フレームの取扱いについても聞きたい。

以 上